

福祉施設管理論

		単位数	履修方法	配当学年
		4単位	R or SR	3年以上
科目コード	DE4125	担当教員	高橋 誠一	



※2008年度以前入学者に対して開設されている科目です。2009年度以降に入学した方は、履修することはできません。

■科目の内容

社会福祉法人は社会福祉の中心的な担い手として、これまで以上の役割を期待されています。日本の社会にも、近年さまざまな格差が生まれるようになり、低所得者の社会問題など、これまでの社会福祉法人の取り組みがますます必要になる状況にあります。

しかし一方で、これまで社会福祉事業を中心とした福祉分野は、利用者を中心とした福祉サービスへとその提供のあり方が大きく変わってきました。その背景には、地域生活支援・自立生活支援ニーズが高まり、従来の福祉援助の仕組みでは対応が困難になってきたことがあげられます。その結果、福祉サービスの特質に配慮しながらも、増大する福祉サービスのニーズに応えるために、特定非営利活動法人（NPO）、民間企業、医療法人などさまざまな法人が事業所を運営して福祉サービスを提供できるように規制が緩和されてきました。

この科目では、社会福祉法人の福祉サービス経営について学んでいきますが、福祉サービス提供組織の多様性も念頭に入れ、共通する内容に重点を置きます。福祉サービス提供組織の存在理由は、利用者へのサービス提供にあります。利用者を中心とした福祉サービスは、利用者のニーズを理解し、本人や家族、地域の住民と協力して提供していくことが多いので、画一的ではない柔軟なサービス提供が求められます。経営者や管理者は、小規模な事業所以外では、直接利用者にサービスを提供することは多くありませんが、生活支援や介護、相談援助を行う職員を通して利用者に貢献しています。ですから、経営者や管理者は職員が働きやすい環境を作り、人材を育成し、必要な資源や組織環境を整えることが重要な仕事になります。そのためには、利用者中心の理念を明確にし、組織的な事業経営に取り組む必要があります。

■到達目標

- 1) 福祉サービス経営者としての法人の役割を説明できる。
- 2) 職員をサポートしリードしていく管理者の役割を理解し、説明できる。
- 3) 福祉サービスの質を保証し、利用者の選択と意見を取り入れていく仕組みや第三者評価を説明できる。
- 4) 職員の待遇、人材の確保、人材の育成を理解し、説明できる。
- 5) 会計財務管理の基本を理解し、説明できる。
- 6) 経営学の基礎知識を理解し説明できる。

■教科書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座11 福祉サービスの組織と経営（第5版）』中央法規出版、2017年（第5版でなくても可）

（最近の教科書変更時期）2017年4月

■在宅学習15のポイント

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
1	福祉サービスにおける組織と経営①福祉サービスにおける組織・経営（第1章）	「サービス」「経営」といった用語がどのような意味で用いられているのかを押さえたうえで、福祉領域における「サービス」や「経営管理」の特徴を整理し、理解する。	1. 福祉サービスという言葉がかわるようになった背景は何か。 2. 福祉サービスの特徴は何か。
2	福祉サービスにおける組織と経営②福祉サービスと制度（第1章）	福祉サービスがどのような環境で、どのような手法を用いて展開されているのかを理解する。	1. 準市場は、一般の市場となりが違うのか。 2. 福祉サービスを提供する上で、倫理はなぜ重要なのか。
3	福祉サービスにかかわる組織や団体①法人とは、社会福祉法人（第2章）	1. 「法人」の存在意義について述べ、その基本形態について整理する。そして社会福祉に関連する法人にはどのようなものがあり、それぞれがどのような特徴をもっているのかを理解する。 2. 福祉サービスの提供にかかわる組織や団体に関して、それぞれの定義や役割を押さえるとともに、各機関の現状や課題について理解する。 3. 戦後、わが国の社会福祉サービスの提供主体として大きな役割を果たしてきた社会福祉法人について理解する。	1. 法人のメリットは何か。 2. ガバナンスとマネジメントの違いは何か。 3. 社会福祉法において社会福祉法人の役割はどのように考えられているか。
4	福祉サービスにかかわる組織や団体②特定非営利活動法人（第2章）	特定非営利活動促進法成立後わずか10年余りで4万6,300の団体が認証されるまでになった特定非営利活動法人について理解する。	1. 特定非営利活動法人が生まれた背景は何か。 2. 認証の仕組みはどのようなものか。
5	福祉サービスにかかわる組織や団体③その他の組織や団体（第2章）	医療法人、営利法人、公益法人、市民団体、協同組合（農協、生協）、自治会について、それぞれの特徴を理解する。	1. 医療法人の法人としての多様性を理解する。 2. 各法人の根拠法を理解する。
6	福祉サービスの組織と経営の基礎理論①戦略、事業計画（第3章）	1. 経営を学ぶ上で最低限必要となる基礎的な概念、理論について理解する。 2. 戦略について、その概念を整理したうえで経営戦略の策定プロセスを具体的に理解する。 3. 福祉サービスの戦略を考える際に参考となるいくつかの戦略論も理解する。	1. 福祉事業を行う上で、経営理念はどのような役割を果たすか。 2. 経営理念を実現するために、どのような仕組みや経営活動が考えられるか。

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
7	福祉サービスの組織と経営の基礎理論② 組織、管理運営の基礎理論 (第3章)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事業計画の策定から実行、評価までを、順を追って理解する。 2. 福祉サービスを念頭におき、マクロ的な観点の組織論の主要な概念について理解する。 3. 管理の目的やその対象について整理し、次に、管理の手法として、PDCA サイクルを理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 福祉サービスの質とは何か。 2. サービスの質を改善するためにどのような取り組みが考えられるか。
8	福祉サービスの組織と経営の基礎理論③ 集団の力学に関する基礎理論 (第3章)	集団力学の基本的な理論を理解する。	チームワークにおいてグループダイナミクスを考えることはなぜ重要なのか。
9	福祉サービスの組織と経営の基礎理論④ リーダーシップに関する基礎理論 (第3章)	リーダーシップの必要性とさまざまな理論を学び理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. リーダーシップとマネジメントはどう異なるのか。 2. なぜさまざまなリーダーシップ論があるのか。
10	福祉サービスの管理運営の方法① サービス管理① サービスマネジメント、サービスの質の評価 (第4章)	<ol style="list-style-type: none"> 1. マーケティングの基本的な要素である「四つのP」を軸に、サービス管理に必要な基礎的な事項を整理し、 2. サービスの質の向上、利用者のサービス選択のために導入が進められている第三者評価等の「サービスの質」を評価する仕組みについて理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 福祉サービスにおいて、なぜマーケティングが必要なのか。 2. 第三者評価、自己評価の違いは何か。
11	福祉サービスの管理運営の方法① サービス管理② 苦情対応とリスクマネジメント (第4章)	福祉サービスの提供にあたってのリスクにはどのようなものがあるかを明らかにし、その対処法について具体的に理解する。	リスクに対する、事後的な対応だけでなく、事前の対応を考える必要性は何か。
12	福祉サービスの管理運営の方法① サービス管理③ サービス提供のあり方の方向性 (第4章)	これまでの福祉サービス提供の問題点を指摘し、今後の福祉サービスのあり方について理解する。	いま求められている福祉サービスとはどのようなものか、それを実現する方法は何か。
13	福祉サービスの管理運営の方法② 人事・労務管理、人材育成 (第5章)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人事・労務管理について、一般理論ではなく福祉サービスの視点から学ぶ。 2. 具体的には、人材の確保と採用、配置と異動、給与等の待遇と福利厚生、人事考課、労務管理・労使関係管理といったテーマについて、それぞれ福祉の職場の特徴を踏まえて、その目的や内容を理解する。 3. 人材育成の意義と必要性、OJT や OFF-JT、SDS の手法を理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 雇用する側、雇用される側それぞれの立場から、人事管理を考えると、どのような違いがあるか。 2. 福祉における人材確保の問題は何か、どのような施策や支援が行われているか。

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
14	福祉サービスの管理運営の方法③会計管理と財務管理(第6章)	企業とは異なる特殊な性格を有する社会福祉法人の財務管理の考え方を解説し、財務管理の基礎となる情報である財務諸表の概要とその見方・使い方を習得することを目的とする。	1. 基本的な財務諸表は何か 2. 貸借対照表と事業活動収支計算書の違いは何か。
15	福祉サービスの管理運営の方法④情報管理と戦略的広報(第7章)	超高齢社会の到来、高度情報社会の進展に伴い変革する福祉サービスのあり方を踏まえ、事業経営における情報の活用、利用者への情報開示、個人情報の保護、パブリック・リレーションズについて理解する。	個人情報保護と情報開示がなぜ必要とされるのか。

■レポート課題

1 単位め	福祉サービスにおける社会福祉法人の特質と役割を説明せよ。
2 単位め	利用者中心の福祉サービスの提供を実現するために必要と考えられることを述べよ。
3 単位め	職員が働きやすい事業所の運営について説明せよ。
4 単位め	福祉サービスの質の改善方法について述べよ。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

1 単位め アドバイス

多様な法人が福祉サービスを提供していますが、社会福祉法人は社会福祉事業を担う特別法人として設立を認められた法人です。そのため厳しい規制を受けますが、他の法人では認められない福祉サービスの提供を行うことができます。社会福祉法を読み返して、社会福祉全体の中で、社会福祉法人の役割について考えてください。

2 単位め アドバイス

利用者中心の福祉サービスとは何かを考えてください。利用者中心は利用者本位、利用者主体と呼ばれることもあります。利用者中心の福祉サービスを考えるために、そうではない場合、すなわち提供者中心の福祉サービスを考え、対比すると、はっきりすると思います。一般のサービスでは、消費者主権という言葉が使われますが、これは利用者中心と同じでしょうか。ここでは、直接サービスを提供する職員の立場だけでなく、福祉サービス提供組織の経営者の立場からも考えてください。どのような理念や事業経営が必要になるでしょうか。

3 単位め アドバイス

職員が働きやすいとはどういうことでしょうか。職員の能力を発揮できる、やりがいがある、必要なスキルを身につけることができる、仕事を通して自分自身が成長できるということがあるでしょう。チームの一員として自分の役割を果たせることもあるでしょう。なによりも、利用者が必要とし、役立つ支援をできることが働きやすい職場となると思います。そのためには、経営者や管理者はどのように職員を支援していけばよいでしょうか。また、賃金やキャリアアップの仕組みがはっきりしていることなども重要です。

4 単位め
アドバイス

福祉サービスの質は、「言うは易く行ふは難し」といえるでしょう。外部の評価としては第三者評価や認証制度があります。事業所自身が、自己評価に取り組むこともあります。このように定期的に、サービスの質を評価し改善に取り組むこともありますが、苦情やサービスの問題を自ら認識して、それに組織的に取り組むこともあります。サービスの質は、利用者の評価にも反映されます。このように福祉サービスの質は、多面的ですが、よりよいサービスを提供することは福祉サービス提供組織の使命と言えるでしょう。

■科目修了試験 評価基準

内容を理解した上で書かれているかを重視しますが、キーワードが書かれており、適切に使用されているか、を評価します。

■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

とくに「基礎的知識」「レポート作成力」「自己管理能力」を身につけてほしい。

■参考図書

教科書の文献欄をご覧ください。